

教科名	家庭	科目名	生活と福祉	学年	3年	単位数	4
準教科書	生活と福祉（実教出版）		副教材	生活学 Navi 資料+成分表 2024（実教出版）			

1 担当者からのメッセージ

この科目は、高齢者の介護と福祉に関する知識と技術を習得し、高齢者の自己決定に基づく自立生活支援と福祉の充実について思考を深め、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援を担う資質・能力を育成することをねらいとしています。我が国の急速な高齢化の進展と人口減少社会、高齢者福祉の法規や制度の変化などに対応し、人間の尊厳と自立生活支援について学んでいきましょう。

2 学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 学習計画

		単元名（学習項目）		学習内容（ねらい）
前期	前期	第1章	第5章 介護の実習	体位変換、歩行介助、移動・移乗、食事、ベッドメイキング、衣服の着脱、身体の清潔、排泄、褥瘡予防、災害時の介護
	中間	健康と生活		
後期	前期	第2章	第6章 看護の実習	
	期末	少子高齢化の現状と高齢者の特徴		
後期	後期	第3章	第7章 生活支援	バイタルサイン(体温・脈・呼吸・血圧の測定)、口腔ケア、冷電法
	中間	高齢者の自立支援		調理・衣類の洗濯や補修、掃除 レクリエーション
	学年末	第4章 高齢者支援の法律と制度		

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
高齢者福祉について関心もち、その充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	高齢者福祉についての課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	高齢者福祉心に関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

5 評価方法

計 70時間（50分授業）

定期考査・実技テスト・提出物・授業態度

知識・技能・・・35% 思考・判断・表現・・・35% 主体的に学習に取り組む態度・・・30%